

---

★ あさだより

---

先日、伝統ある専門学校の中央工学校（東京都北区）を視察させていただきました。とても暑い日でしたが、男女の生徒たちが建築、設計、造園、デザインなどの実習に一所懸命取り組んでいました。

新型コロナウイルス感染症への対応で、遠隔授業、分散登校など様々な対応もとられています。生徒たちのために、できることは全部やる、という姿勢を感じました。

同校は田中角栄元首相の母校でもあります（昭和11年、土木科卒業）。また本当に奇遇だったのですが、この日、運転手として担当していただいた田村さんも卒業生（建築科卒業。その後国鉄に就職され、定年後に文部科学省でお勤め）と分かり、車内で母校のお話を嬉しそうに、懐かしそうにしてくださいました。

もともと家が農家ということもあるかもしれませんが、私は専門学校や高校の専門学科、高等専門学校などを訪ねるのが大好きです。学習内容にもとても興味があります。自分が知らないこと、できないことが多いからでしょう。そのうち時間ができたらちゃんと習ってみようかなと考えていることの一つに「料理」がありますが、今回見せていただいた中で、特に「設備」関係（具体的には建築設備設計科）にも惹かれました。家の中の給排水や空調の配管、設備などがどういう仕組みか知りたいし、自分で直したりできるといいですね。

本当は、一つだけの人生じゃなくて、いろんな道を経験してみたかったなと思います。……まだ間に合うかな？

（総合教育政策局長 浅田 和伸）

---